

## 大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会（第1回）議事概要

1. 日 時 平成17年7月19日（火） 15時～17時40分

2. 場 所 京都大学附属図書館

3. 出席者 （順不同、敬称略）

京都大学人間環境学研究科・総合人間学部図書館 辰野 直子

神戸大学附属図書館 石定 泰典

大阪府立大学学術情報センター 赤崎 久美

和歌山県立医科大学図書館 南方 政英

姫路獨協大学図書館 梶浦美千子

同志社大学総合情報センター 西山 智紗

京都産業大学図書館 近江由紀子

大阪大学附属図書館 杉山 宗武

関西学院大学図書館 中村 順治

京都大学附属図書館（運営委員会委員長） 大埜 浩一

京都大学附属図書館（運営委員会事務局） 森 生也

欠席者 （敬称略）

近畿大学中央図書館 鹿田 昌司

### 4. 議 事

議事に先立ち、近畿イニシア運営委員会委員長である京都大学附属図書館大埜事務部長の挨拶の後、出席者の自己紹介が行われた。

#### 1) 主査の選出

大埜事務部長の司会により専門委員会主査の選出を行った。運営委員会での了解事項に基づき、大阪大学附属図書館杉山情報サービス課長を主査に選出した。

#### 2) 能力開発専門委員会の意義について

次いで、大埜事務部長から近畿イニシアの活動として能力開発を取り上げるに至った理由の説明があった。概略は以下のとおり。

- ・能力開発事業の実施が、そもそも近畿イニシア創設の動機でもあった。大学コンソーシアム京都の事業を検討する中で、研修事業の必要性が認識された。
- ・初任者研修などは、大規模大学を除いて個別大学で恒常的に実施するのが難しくなっているという実情があるので、近畿一円で共同実施してはどうかと考えた。
- ・また、各地で同じようなテーマで研修事業が行われているので、共催などの形で近畿イニシアでまとめて行ってはどうかと考えている。
- ・国大図協マネジメントセミナーの資料ほかを参考にして能力開発のあり方の検討をお願いしたい。共通課題として何を取り上げるべきかの検討、また、既存の研修に対する提案などもお願いしたいが、当面は初任者研修の実施をお願いする。

### 3) 平成 17 年度能力開発事業（初任者研修）の企画・検討

杉山主査から、当面の課題である初任者研修を秋に実施することとして詳細を決めて行きたい。本日は骨格となる部分を決め、後はメールでやり取りする。各自役割を持って、主体的に委員会の運営に関わってもらいたい旨の発言があり、検討に入った。

#### 開催時期について

開催時期については、近畿イニシア立ち上げ時期から秋を想定していたが、年間日程を見ると、かなり日程が混んでいるので「スケジュール案」では 12 月開催を考えているとの説明があった。年を越すと入試や年度末への対応があり参加が難しくなる、また、10 月の人事異動もあるとのことで、11 月～12 月頃というのは妥当ではないかとの意見が出された。

#### 開催日程について

開催日程については、大学コンソーシアム京都の初任者研修の経験から、1 日ではかなり密になり、グループ討議などの他大学との交流を広げる時間が十分に取れなかったとの意見があった。一方、小規模校では、複数日になると参加が難しい大学もあるのではないかという意見も出された。

これに対し、2 日以上になっても必ずしも連続させる必要はないのではないかと、また、全日出席を義務づけず、参加を自由にするという考え方もあるとの意見が出されたが、その際には内容を工夫して、1 日参加でもある程度まとまった形にする必要があるとの発言があった。

#### 内容について

「初任者研修概要案」をもとに検討し、次のような意見が出された。

- ・初任者研修では基本となる考え方を教えてもらえるような内容を期待している。
- ・講話（各大学の業務報告）は各論になってしまうが、核になる大きなテーマの方がよいのではないかと。
- ・対象者にもよるが、経験 1～3 年くらいの人では、他大学のやり方を知るのも意味があると思う。また、班別討議のテーマも適当である。
- ・1 日目を講義主体にして、目録とか著作権などの大きなテーマとし、2 日目を講演者を交えて討議の場としてはどうか。
- ・1 日目の講話の代わりに 2 日目のサービスの講演を入れてはどうか。
- ・大学図書館全体の動きが掴み難いので、現在の動向や問題点を話してもらえるとあり難いと思う。また情報の入手の仕方も含めた話が聞ければよい。

以上の意見交換の後、第 2 回専門委員会に諮る案をメールを利用して固めて行くこととした。

#### 対象者について

初任者研修の対象者について、運営委員会では新規採用者に加え、他部署からの

異動者を含めて考えている。増加している派遣職員やアウトソーシングの人たちを対象とするかについては業者は除くという考え方で落ち着いているが、派遣職員をどうするかについてはこれからの議論であるとの説明があった。

異動者を含めて経験 1~2 年目までくらいを対象としてはどうか、派遣職員に対しても門戸を閉ざす必要はないのではとの意見が出された。また、大学によっては派遣職員に旅費を認めているところもあるようなので、参加を認めてあげる方がよい、年限に関しては経験により図書館業務に対する見方も変わるので、もう少し広げて欲しい、対象者である初任者がどれだけいるのか、参加人数を把握する意味でも加盟館に事前調査が必要ではないかとの意見が出された。

#### 会場について

会場については、集まりやすく、かつ近畿イニシアが財政基盤をもたないことから無料で利用できる施設がよいとの説明があった。数大学に依頼して、11月~12月頃に、無料で利用できる施設がないかどうか、有料の場合は施設の使用料金を調査報告することとした。

#### その他

- ・ 杉山主査から事務局に対しメーリングリストの作成依頼があった。事務局側からは運営委員会との間でも情報が流通するようメーリングリストの整理を行いたい旨の発言があった。
- ・ 杉山主査から神戸大学の石定委員に本専門委員会の事務局を願いたい旨の依頼があった。
- ・ 事務局側から大学コンソーシアム京都の研修事業での経験から、委員会組織だけでは実施が難しい面があるので、必要に応じてワーキンググループの設置も検討すればよいとの提案があった。
- ・ 次回の開催については9月上旬をめどに日程調整をし、それまではメールを利用して意見交換を行い、具体案を固めて行くこととした。

以 上